緊急提言　広告特集

がんばれ、ニッポンの医療
～今、医療崩壊を食い止めるために～

COVID-19
RESPONSE

2020年4月

No reproduction without permission.

企画趣旨

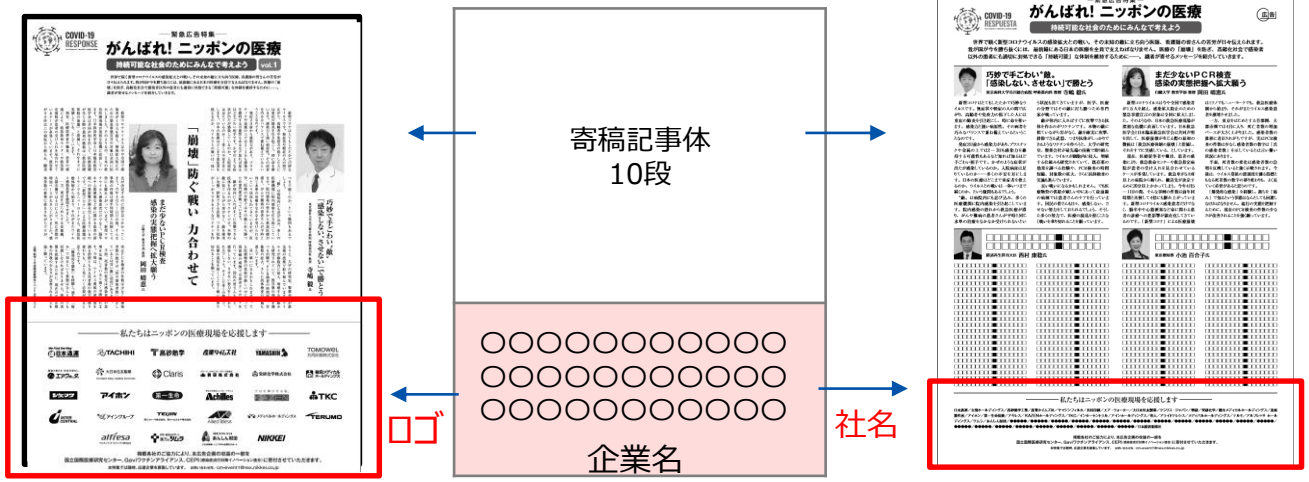
この度、新型コロナウイルスが蔓延する中、世界の各都市で医療現場が崩壊していく様子が報じられています。未知のウイルスとの戦いの最前線である医療現場のストレスは想像するに余りあり、医療従事者は各地で悲鳴をあげているのが今の世界の実情です。

そんな中、我が国日本では患者数が増加傾向にある中でも死亡率は低く保たれており、各地の医療現場の方々の努力によって何とか持ちこたえている状況といえるでしょう。世界の各地でも現場で戦う医療従事者の方々への感謝を伝える光景がよく見られましたが、日本においても現場の方々への感謝を伝えると同時に持続可能な医療体制維持のために、行政、アカデミア、企業、さらには市民が何ができるのか考えていくことが喫緊の課題となります。

日本経済新聞では各界を代表する方々、特に今回の新型コロナウイルスの対応で実際に行動された方々からのメッセージをいただき、今、日本の医療体制を守るために必要となる行動について考える企画を立案いたしました。ご高覧の上、何卒ご賛同いただきますよう、お願い申し上げます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

企画概要（編集10段+5段社名ロゴ連合）

企画名	緊急提言　広告特集 **「がんばれ、ニッポンの医療 ～今、医療崩壊を食い止めるために～」**
掲載紙	**日本経済新聞 朝刊 全国版** ■ 日本経済新聞･電子版購読数合計： 298万8124部 ■ 日本経済新聞朝刊販売部数： 230万7849部 [2019年6月ABC協会公査朝刊販売部数] ■ 電子版有料会員数　　：　68万0275ID [2019年7月1日時点の電子版有料会員数] **日経メディカル**　販売部数： 105,097部
掲載日	**2020年4月以降シリーズ展開　6か月で日本経済新聞は12回シリーズ（予定）、日経メディカルは6回シリーズ（予定）** **ロゴ、社名は希望する回数だけ掲載いたします。**
体　裁	**日本経済新聞１Ｐ（記事体特集10段＋社名ロゴ連合5段）** 
料　金	**全5段ロゴ連合　　1,000,000円（１社あたり）（税別）※希望する回数掲載（全12回のうち）** ※モノクロでの掲載となります。 **日経メディカルにも随時掲載していく予定です。**
備　考	※本企画の売上の一部を国立国際医療研究センター、GaViワクチンアライアンス、CEPI（感染症流行対策イノベーション連合）に寄付いたします。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

記事内容案

記事内容案

日本の医療事情に詳しい方、さらに今回の新型コロナウイルスの対応で様々な行動を起こされている方々へのインタビューを中心に緊急提言を構成し、シリーズで展開。持続可能な日本医療体制のために必要なことをメッセージとして発信していただきます。

※以下のご登場者の一部は候補です。これから交渉してまいります。

【緊急提言　候補者案】寄稿、対談で展開し、半年で12回を目標とします。

医療関係者・学者

尾崎治夫氏（東京都医師会会長）

菊岡正和氏（神奈川県医師会会長）

中山譲治氏（日本製薬工業協会会長）

岡田晴恵氏（白鳳大学教授）

寺島毅氏（東京歯科大学教授）

水野泰孝氏（グローバルヘルスクリニック）

松本哲哉（国際医療福祉大学教授）

河岡義裕（ウイルス学者）

政治家

安倍晋三氏（内閣総理大臣）

加藤勝信氏（厚生労働大臣）

西村康稔氏（経済再生担当大臣）5月15日

小池百合子氏（東京都知事）5月15日

黒岩祐治氏（神奈川県知事）

吉村洋文氏（大阪府知事）

高島宗一郎氏（福岡市長）

経済団体・NPO

小林喜光氏（規制改革推進会議議長）

三木谷浩史氏（新経済連盟代表理事）

小川真吾氏（NPO法人テラ・ルネッサンス理事長/ 海外事業部長）

安田菜津紀（NPO法人Dialogue for People所属ジャーナリスト）

久留宮　隆（国境なき医師団日本　会長）

駒崎弘樹（NPO法人フローレンス代表理事）

遠山和子（NPO法人　日本呼吸器障害者情報センター　理事長）

今井久美（NPO法人　カタリバ代表理事）

伊藤芳浩（NPO法人　インフォメーションギャップバスター 理事長）

小澤 いぶき （NPO法人PIECES　代表理事）

本企画に関するお問い合わせ

日本経済新聞社　メディアビジネス イベント・企画ユニット　営業企画部
〒100-8066　東京都千代田区大手町1-3-7
電話03-6256-7498

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

第1回掲載内容（4月30日　日経朝刊）と今後のスケジュール（予定）、ご登場者（確定）

COVID-19 RESPONSE

緊急広告特集

がんばれ! ニッポンの医療

持続可能な社会のためにみんなで考えよう vol.1

「崩壊」防ぐ戦い　力合わせて

まだ少ないPCR検査
感染の実態把握へ拡大願う

巧妙で手ごわい敵。
「感染しない、させない」で勝とう

私たちはニッポンの医療現場を応援します

掲載各社のご協力により、本広告企画の収益の一部を
国立国際医療研究センター、Gaviワクチンアライアンス、CEPIに寄付させていただきます。

第2回掲載予定　　5月15日（予定）
- 西村康稔氏　　経済再生担当大臣
- 小池百合子氏　　東京都知事

第3回掲載予定　　5月29日（予定）
- 尾崎治夫氏（東京都医師会会長）
- 中山譲治氏（日本製薬工業協会会長）

第4回掲載予定　　6月15日（予定）
- 黒川清氏　（内閣官房・健康医療戦略室健康・医療戦略参与）
- 小林善光氏　（規制改革推進会議議長　三菱ケミカルホールディングス取締役会長）

第5回掲載予定　　6月30日（予定）
- 進藤奈邦子氏（WHOシニアアドバイザー）
- 山勢博彰氏　（日本救急看護学会　代表理事）

※6回目以降依頼中

Nikkei Inc. No reproduction without permission.

日経メディカル掲載イメージ

—緊急広告特集—

COVID-19 RESPUESTA

がんばれ! ニッポンの医療

広告

持続可能な社会のためにみんなで考えよう

世界で続く新型コロナウイルスの感染拡大との戦い。その未知の敵に立ち向う医師、看護師の皆さんの苦労が日々伝えられます。我が国が今を勝ち抜くには、最前線にある日本の医療を全員で支えねばなりません。医療の「崩壊」を防ぎ、高齢化社会で感染者以外の患者にも適切に対処できる「持続可能」な体制を維持するために——。識者が寄せるメッセージを紹介していきます。

巧妙で手ごわい*敵。「感染しない、させない」で勝とう

東京病院大学市川総合病院 呼吸器内科 教授 寺嶋 毅氏

新型コロナはとてもしたたかで巧妙なウイルスです。無症状や軽症の人の間で広がり、高齢者や免疫力の低下した人には重症の肺炎を引き起こし、時に命を奪います。感染力と強い病原性。その両者を巧みなバランスで兼ね備えているということなのです。

発症2日前から感染力があり、プラスチックや金属の上では2～3日も感染力を維持する可能性もあるなど知れば知るほど手ごわい相手です。かぜのような症状が出たが感染しているのか。入院病床は足りているのか——多くの不安を耳にします。日本の医療はどこまで重症者を救えるのか、ウイルスとの戦いは一体いつまで続くのか、という疑問もあるでしょう。

*敵。は病院内にも忍び込み、多くの医療機関に院内感染を引き起こしています。院内感染の恐れから救急医療が滞り、がんや難病の患者さんが平時と同じ水準の治療をなかなか受けられないという状況も出てきていますが、医学、医療の分野ではその敵に打ち勝つため専門家が戦っています。

敵が体内に入ればすぐに攻撃できる抗体を作るのがワクチンです。本物の敵に似ていながら害がなく、敵を確実に攻撃、排除できる武器、つまり抗体がしっかりできるようなワクチンを作ろうと、大学の研究室、製薬会社が最先端の技術で取り組んでいます。ウイルスが細胞内に侵入、増殖する仕組みも研究されていて、既存薬の効果を調べる治験や、PCR検査の時間短縮、対象数の拡大、さらに抗体検査の実施も進んでいます。

長い戦いになるかもしれません。でも医療物資の供給が厳しい中にあって最前線の病棟では患者さんのケアを行っています。国民の皆さんも日々、感染しない、させない努力をしておられるでしょう。そうした多くの努力で、医療の混乱を招くことなく戦いを乗り切れることを願っています。

まだ少ないPCR検査 感染の実態把握へ拡大願う

白鷗大学 教育学部 教授 岡田 晴恵氏

新型コロナウイルスは今や全国で感染者が1万人を超え、感染拡大防止のための緊急事態宣言の対象は全国に拡大しました。そのような中、日本の救急医療現場が深刻な危機に直面しています。日本救急医学会と日本臨床救急医学会は共同声明を出して、医療崩壊が生じる際の最初の徴候は「救急医療体制の崩壊」と指摘し、それをすでに実感している、としています。

現在、医療従事者や職員、患者の感染により、救急救命センターや救急指定病院が患者の受け入れを見合わせているケースが多発しています。救急車が5分所以上の病院から断られ、搬送先が決定するのに30分以上かかってしまう。今年4月5～11日の間、そんな事例の件数は前年同時期と比較して4倍にも膨れ上がっています。新型コロナウイルス感染患者だけでなく、脳卒中や心筋梗塞など命に関わる患者の診療への悪影響が顕在化してきているのです。「新型コロナ」による医療崩壊はミラノでもニューヨークでも、救急医療体制から始まり、それがまたウイルス感染患者を激増させました。

一方、東京を はじめとする首都圏、大都市圏では4月に入り、死亡者数の増加ペースが大きく上がりました。感染者数の推移に着目されがちですが、実はPCR検査の件数は少なく、感染者数の数字は「真の感染者数」を示しているとは言い難い状況にあります。

半面、死者数の変化は感染者数の急増を反映していると強く示唆されます。今後は、ウイルス毒性の深刻度を測る指標ともなる死者数の数字の移り変わりも、よく見ていく必要があると思うのです。

「爆発的な感染」を経験し、酒ちを「痛み」で知るという事態はなんとしても回避しなければなりません。流行の実態を把握するために、現在のPCR検査の件数の少なさが改善されることを強く願っています。

経済再生担当大臣 西村 康稔氏

東京都知事 小池 百合子氏

——私たちはニッポンの医療現場を応援します——

日本酒造／立飛ホールディングス／高砂熱学工業／産業タイムズ社／ヤマシンフィルタ／共同印刷／エア・ウォーター／大日本住友製薬／クラリス・ジャパン／興研／栄研化学／総合メディカルホールディングス／重松製作所／アイホン／第一生命保険／アキレス／KAZENホールディングス／TKG／インターセントラル／アインホールディングス／帝人／アライドアーキテクツ／メディパルホールディングス／アルモ／アルフレッサ ホールディングス／ツムラ／あんしん財団／●●●●●／日本経済新聞社

掲載各社のご協力により、本広告企画の収益の一部を
国立国際医療研究センター、Gaviワクチンアライアンス、CEPI（感染症流行対策イノベーション連合）に寄付させていただきます。

本特集では関連、応援企業を募集しています。 お問い合わせ先：cm-event1@nex.nikkei.co.jp

日経メディカルの掲載について

新聞掲載2回分を1回にまとめて掲載予定

日経メディカル　6月号　予定
（日本経済新聞　4月30日、5月15日
掲載内容を掲載予定）

以降、順次掲載予定

Nikkei Inc. No reproduction without permission.